

令和元年度 新潟県災害医療研修会

体験実習・参加型セミナー

地域の多職種が一堂に会してテーブルワークを通じて災害医療の基礎を学ぶ、新潟県災害医療研修会。平成27年度は避難所の立ち上げから管理運営をシミュレーションで学ぶ「HAPPY」、平成28年度は心理専門家でなくても被災者の心の支援を行う「心理的応急処置Psychological First Aid」（3時間コース）、平成29年度は災害支援を行うすべての職種の方が身につけておくべき国際基準「スフィア基準を学ぼう」（3時間コース）、そして平成30年度は「パーソナリティ分析と組織論」（3時間コース）として、円滑な災害医療活動を目指し、みなさんと勉強してきました。5年目の今年は「災害時の食生活と栄養～いま 出来ること！～」をご用意しました。ぜひ一緒に勉強しませんか！

◆災害時の食生活と栄養 ～いま 出来ること～

- 災害時には健康状態が悪化することが多く、災害関連死を引きおこす場合もあります。健康被害を少しでも減らすために、食生活・栄養は大きなウエイトを占めています。新たな患者発生を防ぎ、医療ニーズ増大を抑えるためにも栄養管理は重要です。
- 災害時に生じてくる食生活や栄養の問題をエビデンスとともに学び、「いま 出来ること！」を考えていきます。
- 世界初の災害食認証制度や災害栄養支援チーム(JDA-DAT)等の最新情報も紹介します。
- 誰にでもできる栄養アセスメント法や、災害食を実際に試食し、栄養たっぷりに美味しくする工夫もお伝えします。

◇講師 笠岡(坪山)宣代先生
(国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
国際栄養情報センター 国際災害栄養研究室 室長)

実習
定員50名



◆新潟県における災害時医療体制と災害対応について ◆災害時の保健医療とケーススタディ ◆今日学んだことを振り返る

- 新潟県の災害時医療体制と最近の取り組みとは
- 災害時の保健医療の概要と最近の災害時の保健医療対応の実際
- 山形新潟地震、千葉県大規模停電等についての事例報告
- 災害時の保健医療問題に対するグループワークなど
- 災害医療の多職種連携に求められるものは何か




11月21日(木)下越地区
新潟医療人育成センター

11月22日(金)上越地区
上越総合病院

11月23日(土)中越地区
長岡赤十字看護専門学校

各日程
9:00-
17:20

申込QRコード(11月5日(火)12:00申込締切) 
「新潟大学医学部災害医療教育センターHP」「参加登録票」でも申込可能です

